

この度、本校のコロナウイルス感染症(COVID-19)に関する貴重なご意見・ご心配の旨が届きました。

本学園のことを真摯に考えていただき、貴重なご意見をいただいたことを最初に本学園理事長として、お礼申し上げます。

コロナウイルス感染症(COVID-19)に関し、本学園でも様々な対策をとってきております。今回のご意見をいただき、改めて本学園の理事長として、コロナウイルス感染症に対する本学園の対策を明示させていただくことにいたしました。

回答

ご意見・ご心配いただいているのは、「具体的な防止対策」を明らかにすることと「授業開始の延期」を求めておられることと存じます。

本学園は「感染しない」、「うつさない」、「広げない」ことの3つに分け、対策を進めています。具体的な内容は以下の通りです。

「具体的な防止対策」について

●感染しないための対策として（学生・受講生・教職員を含む全ての学園関係者）

- ・クラスター発生箇所などへの出入り禁止。
- ・渡航中止勧告の出ている各国への渡航禁止。
- ・オリエンテーション・啓蒙活動の強化。

●うつさないための対策として

- ・クラスターの原因となりやすい教職員のマスク着用の義務化と必要に応じた配布、除菌剤を使用した再利用方法の案内。
- ・学生・受講生のマスク着用のお願いと除菌剤を使用した再利用方法の案内。
*供給が不足し配布するための必要数入手が困難なため。
- ・発熱などの症状に関わらず体調異常のある者の出勤停止と休みやすくするための有給化措置。
- ・自主隔離の方法やうつさないための手引きの配布。

●広げないための対策として

- ・換気の励行。
暑い寒いと感じる場合があるかと存じますが、空調は電気代や環境負担に関わらず最大能力で作動させますので、しばらくご辛抱ください。
- ・ドアノブやエレベータースイッチ、トイレや手洗い場の水栓、トイレットペーパーホルダーや便座など手に触れる箇所のチェックシートに基づく定期的な除菌。
ステンレスなどの表面でウイルスは数日間生存するとされていますのでこの除菌に関わらず自身の手指は頻回に除菌するようにしてください。
- ・アルコールやエタノールより強力とされ、食品添加物にも使われている次亜塩素酸水 80ppm のプッシュ型ボトルを必要箇所に配備。
- ・各教室・事務室に除菌用スプレーを配備。

- ・噴霧器を使用し、次亜塩素酸水 80ppm で授業開始前と終業後の 2 回、教室をはじめ廊下などの共用部を除菌しています。
新型コロナウイルスと遺伝子構造が似ているとされる SARS が人の大腸に感染したという報告があることからトイレは大便器を特に念入りに除菌するようにしています。
- ・専用の加湿器を用い次亜塩素酸水 20ppm による空間除菌。
- ・本学園関係者同士の飲食を伴うような会合や会食の禁止。

近日中にエレベーター内、及び全てのトイレの常時空間除菌のための専用加湿器を配備予定です。

●その他の対策

感染疑い例や感染者が出た場合の警報の発令や連絡方法、学級閉鎖などを定めたプロトコルの作成。

行事類は可能な限り小集団に分けて行うほか、分けられない特別の事情のある行事は、中止かそれぞれの態様に応じて個別に特別の対策を講じて行うようにしています。(卒業式は特別の対策が間に合わず安全を担保できないと考え中止しました。)

また電子的な会議システムと遠隔指導のシステムを近々、導入する計画です。

「授業開始の延期」について

コロナウィルスに有効なワクチンが開発され安全を確認し、製造のシステムを整え、流通在庫を積み、私たちの手元に届くのは、早くても 1 年ほど後になります。

アビガンやファビピラビル、レムデシビルなどの薬は、未だ治験中であるとともに感染者の重篤化防止に効果があるかもしれませんが、感染しない、うつさない、広げないことには無力です。

仮に 2 週間や 1 ヶ月、学校だけ休んだとしても感染拡大に対しその抑止効果は非常に限定的でロックダウンのような大きな期待はできないとされていることも事実です。休校により学校を休むことになる学生が、自宅などでいわゆる自主隔離を完全に行う場合は別として、ほぼ普段通りの生活を行うとした場合、その場所と学校とどちらが安全かという比較論になります。

そのような判断の下、十分な配慮と学校内でできるかぎりの対策を行った上で授業を行うことを決めています。

又、万一にも感染が学校内に広がりかねない事態が起これば必要な処置をプロトコルに従い速やかに実施する所存です。

コロナウィルス感染症のオーバーシュートを防止する観点で政府により非常事態宣言が発せられ、大阪府（兵庫県）がいわゆるロックダウンの措置を取り、その一環として休校を指示される場合は、その方法と手順に従い、指定の期間、休校することになります。

又、このロックダウンに伴う休校に対応するためのプロトコル、並びに再開した時の影響を最小限に止めるための準備を進めています。

「若者の不用意な行動」についてご心配なようです。

テレビ報道などでご心配になられることはよく分かります。
私も多分その内の一人です。

しかしながら私たちの学生が学ぶデザインは、私たちのパートナーシップや共感、人間の本来持つべき天性のヒューマニティーに直接働きかけるものであり、他人に対する思いやりや共感によって「症状がなくとも自分は、すでに感染している」ことを前提に誰にも「うつさない」ことを決意し行動することのできる人たちであると信じています。

この新型コロナ禍は、ワクチンができ抗体ができるまで最短で1年を要すると考えられています。
新型コロナウイルス感染症を避け混乱なく安心して授業を受けたいとお考えの場合、最大1年からお考えの適切な期間、休学していただくことも選択肢の1つです。

休学期間は、通常最小1セッションから最大1年間の間で設定でき、その間の学費は、復学後に全額充当されます。また、通常は休学手続きに必要な費用が生じますが、今回の場合は無償になるよう配慮いたします。

以上のことを踏まえた上で、本学園の対策が不十分とお考えで本学園退学を希望される方は、この度の特殊事情に鑑み、学費管理規定に関わらず、理事長の責任で今年度分の学費を全額返還いたしますのでお申し出ください。

最後に、本学園の説明不足でこの大切な時期に大きなご不安を与えてしまったこと、理事長として深くお詫び申し上げます。

学校法人創造社学園 理事長
明上友幸